

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年4月19日17時00分付け）

4月20日から口蹄疫発生地域及びリスク地域（金浦・江華地域）の豚に2回目の口蹄疫（A型）ワクチン接種開始

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGyMjZJTJGWFmcmEIMkY2OCUyRjMxNzQyOSUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12cmdzRW5kZGVtdHIIMQIMjZiYnNpcGVuV3JkU2VxJTNEJT12cmdzQmduZGVtdHIIMQIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IMQIMjZyb3cIMQxMCUyNmIzVmIld01pbmUIMORmYWxzZSUyNnBhZ2UIMQxJT12c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳などに基づく仮訳）

- 農林畜産食品部（以下「農食品部」）は、京畿道金浦市発生地域と隣接地域の江華郡内の豚7万頭（金浦市3万頭、江華郡4万頭）の2回目の口蹄疫ワクチン接種を、口蹄疫防疫専門家協議会（4月5日）勧告に基づいて、4月20日（金）から実施すると発表した。
  - ※ 1回目のワクチン接種は3月27日～3月29日。一般的には4週間後（4月24日～4月26日）に2回目の接種。
  - 今回の措置は、発生地域内畜産農場での感染抗体（NSP）検出、1回目のワクチン未接種の個体がいる可能性、口蹄疫ウイルスの環境抵抗性（畜舎内の豚堆肥で15～28日間生存）などを考慮すると、A型口蹄疫ワクチン抗体の早期上昇誘導が必要であり、ワクチン接種の間隔を調整したものである。
    - ※ 感染抗体（NSP）検出（3月30日～4月3日）：牛 6農家23頭、豚 2農家29頭
- 併せて、農食品部は、今回の2回目の口蹄疫ワクチン接種農家に、綿密な臨床観察と共に、未接種の個体がないように管理を徹底するよう要請した。
  - また、家畜の移動や糞尿回収などのために農場を訪問する車両などについても、消毒など防疫を継続的に強化するよう要請した。